

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 更葉園	代表者	藤田 浩詞	法人・ 事業所 の特徴	「通い」「訪問」「泊り」のサービスを、顔なじみの職員が一括して対応致しますので安心感があります。 入浴は個浴で、1日の通いで最大15名の少人数制でゆったり過ごす事が出来ます。 その方の希望に応じて短時間利用等、ご希望に沿う形をできるだけ提供致します。
事業所名	小規模多機能型居宅 介護事業所	管理者	大崎 美紀		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	0人	3人	0人	0人	5人	人	13人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・引き続き、進捗状況を定期的に確認しながら改善計画に取り組みでいき経過報告を運営推進会議にて行う。	・事業所内で出来ていること、出来ていないことを皆で見つけ、改善に向けて取り組む事が出来た。	・常勤職員全員で多くの意見を出し、実施の主旨、目的等を理解した上で「自己評価」を行っていることが伺える。	・改善計画は職員全員が把握し取り組み、ケアの向上・職員のスキルアップを目指す。 進捗状況を定期的に確認しながら改善計画に取り組みでいき経過報告を運営推進会議にて行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	・引き続き、事業所内の衛生管理・環境整備を心がけ、清潔で居心地の良い事業所作りをする。	・事業所内は季節毎に利用者で作成した季節を感じる貼り絵等装飾する事が出来た。 ・衛生面でも清潔を意識し業務にあたる事が出来ていた。	・事業所内や廊下に利用者が作成した作品が施されている。	・地域の方々に気軽に来て頂けるような、イベント等を計画し実行する。
C. 事業所と地域のかかわり	・引き続き、事業所内の活動の様子や事業所について情報発信を行って行く。 ・ふれあい祭りの開催で地域の方との交流を深める。	・ふれあい祭りの開催で、ご家族や地域の方々との交流が出来た。 ・利用者とするみの会の親子の方達との交流行事が出来た。	・職員の皆さんの挨拶は良いと思う。 ・介護の事で困った事があっても、地域の方々が事業所に最初に相談に来ることは少ない。	・事業所について情報発信を行い、困りごとや相談事がある方達が気軽に立ち寄れる場所になるようにしていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・地域（町内会）の行事・イベントが開催される際は、職員が参加出来るようにする。 （出来れば利用者も一緒に） ・感染予防に努めてご利用者が外	・感染日頃から敷地内の散歩やドライブに出掛け外出できるようにしている。 ・町内会の年間行事予定は頂き、管理者等が参加されていたが、	・近所の心配な方、介護が必要と思われる方等の情報があれば関わっていきたい。	・引き続き、地域（町内会）の行事・イベントが開催される際は、職員（管理者以外）が参加出来るようにする。（出来れば利用者も一緒に）

	出できる機会を多く作る。 ・地域で介護が必要な方、助けが必要な方の情報が入れば必要に応じて対応していく。	小規模職員が参加する事は出来なかった。		・地域に出向き、地域の心配の方や介護が必要と思われる方等の情報を入手していくようにする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・運営推進会議で事業所の現状報告だけでなく、地域の心配な方の情報等無いかを聞き対応に繋げていければ良い。	・運営推進会議の時等に、地域の心配な方の情報等問いかける事が出来ていなかった。	・地域の心配の方等が把握できているのか。	・運営推進会議や自治体・地域包括支援センターとの会議で、地域の心配な方の情報等無いかを聞き対応に繋げていけるようにしていきたい。
F. 事業所の 防災・災害対策	・引き続き、事業所の防災訓練に、多数の方に協力を得られるように日頃から防災計画等発信していく。	・防災訓練では町内会の方の協力を得ることができた。	・防災計画に参加していない。	・引き続き、事業所の防災訓練に、1人でも多くの方に協力を得られるように日頃から防災計画等発信していく。